

近縁な植物の比較

センニンソウ・ボタンヅル

小林 浩二

センニンソウ (きんぼうげ科) [写真1. 写真2]

生育地・生育型：日当りのよい川の土手、保安林縁などに見られるつる性の落葉草本。

茎・葉：茎は長く伸びてまばらに枝分かかれし、基部は木質となる。葉は柄があって対生し奇数羽状複葉で3~5の小葉がある。小葉は卵形できょ歯はない。葉柄は初め短い物が巻きつくと長く生長する。

花・果実：花期は8~9月で多数の白色の花がむらがって



写真1 岩船郡粟島浦村粟島 (1975 9 15)

つく。がく片は白色4個で十字形に開き花弁はない。おしべは多く花糸は細く糸状、めしべも多く子房は細長く、花柱に細毛がある。そう果は扁平で長い白色の羽毛状の毛がつく。

ノート：県内では海岸地帯に多く、ヒサカキの分布型に近いが、阿賀野川および信濃川沿では内陸にも分布する。垂直分布は500m以下の地域である。

採集地：新潟市河渡 じゃんさい池 1991年 9月 1日



写真2 西蒲原郡巻町角田岬 (1983 10 18)

ボタンヅル (きんぼうげ科) [写真3. 写真4]

生育地・生育型：日当りのよい山すそなどに見られる落葉のつる植物。

茎・葉：茎は長くのび期部は木質となり5~6mm ほどのものもある。茎の断面には道管がある。葉は3出複葉、葉柄は短い何か物にふれると長く生長し巻きつく。小葉は卵形で先はとがり、不揃いのきょ歯がある。

花・果実：花期は7~8月に多数の白色の花を上向きに開



写真3 西蒲原郡弥彦村弥彦山 (1992 7 26)

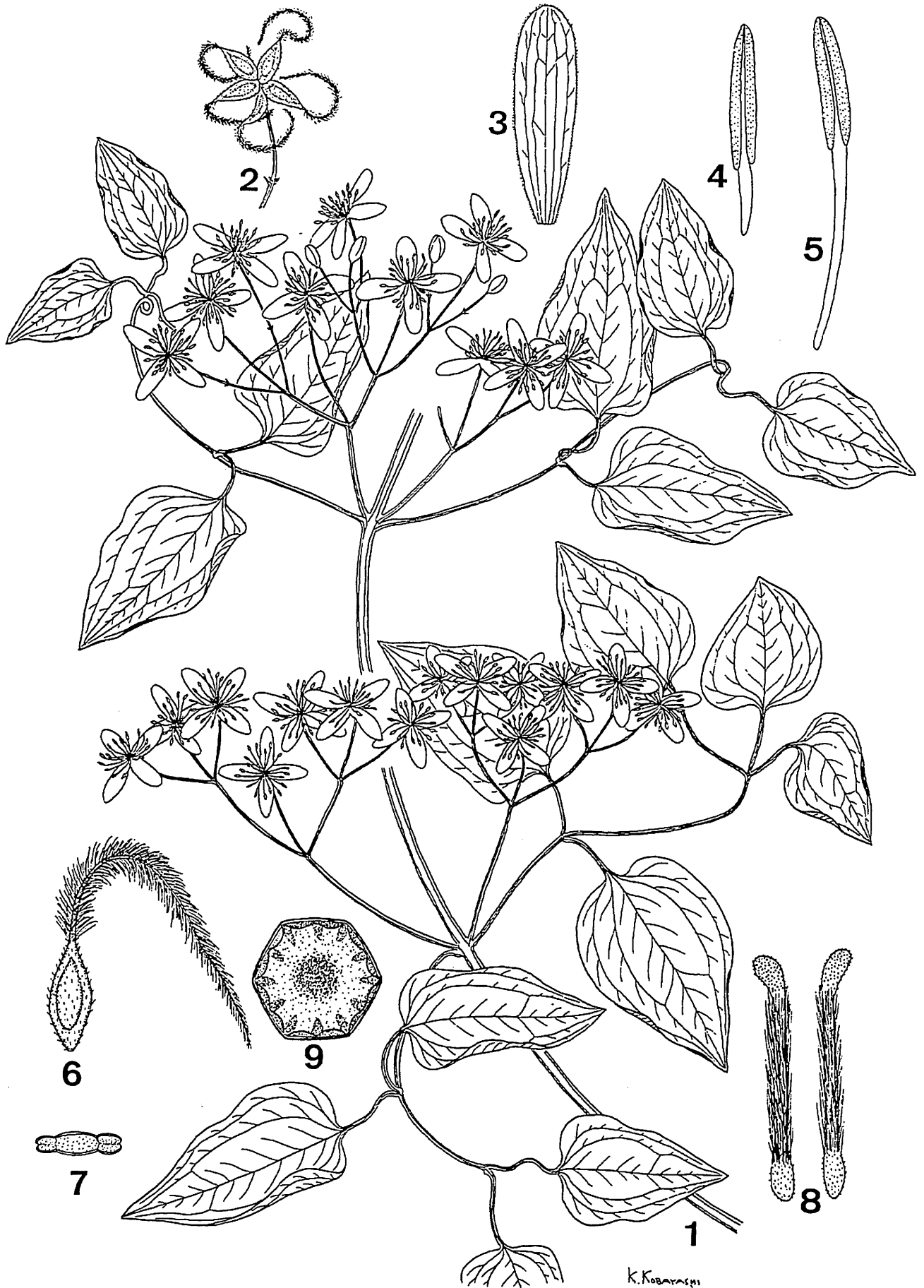
く。がく片は4個で白色、外面に灰白色の短毛があり、花弁はなくおしべ、めしべ共に多い。そう果は卵形で細毛があり、花柱には長い白色部がある。

ノート：県内には広く分布するが1000m以下の低山に多く、垂直分布の最低は新潟市佐潟などの5mであり、最高は妙高高原町笹ヶ峰の1370mである。新潟市にはあまり見られない。

採集地：西蒲原郡弥彦村上泉 1993年 8月 1日



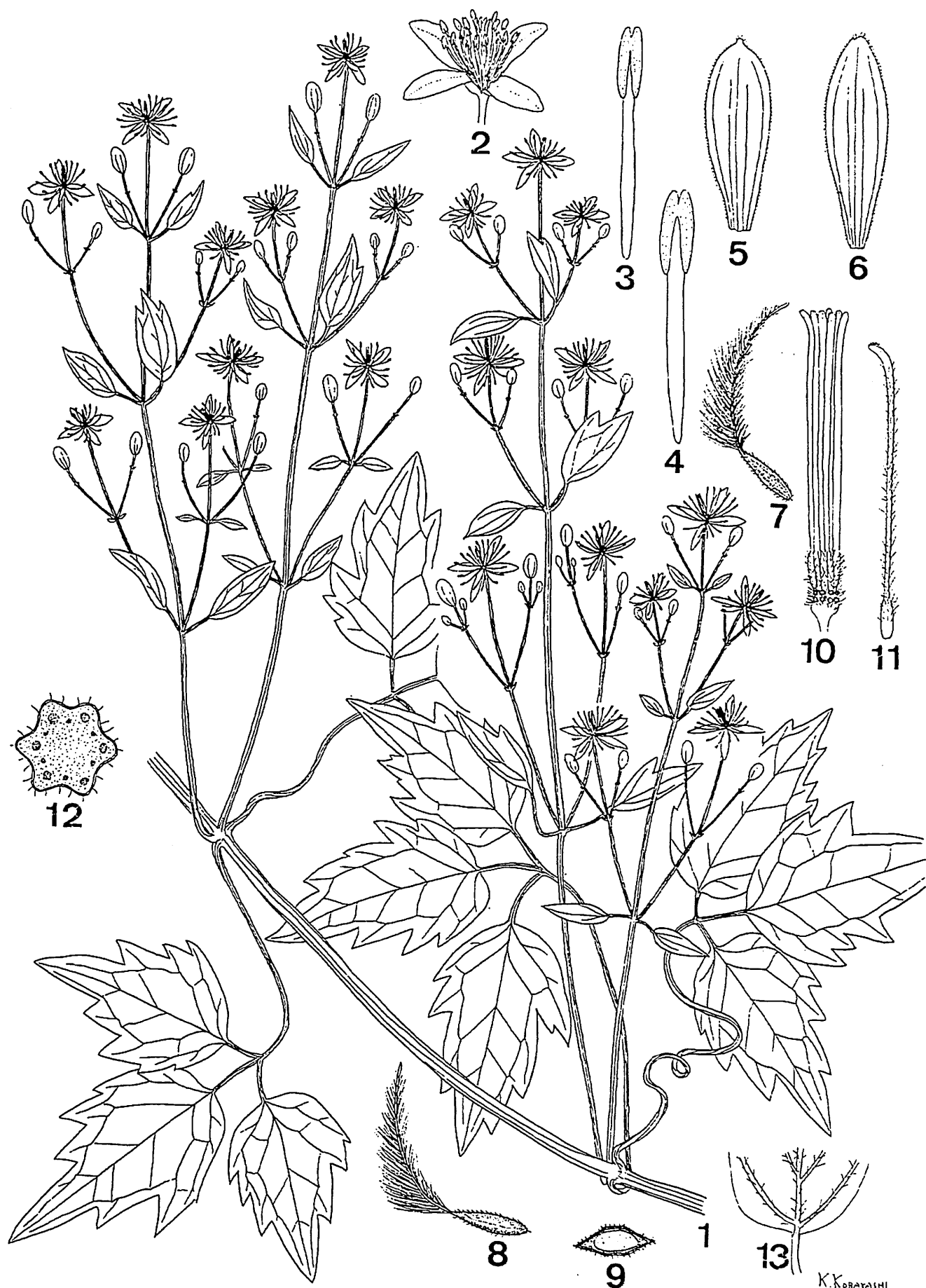
写真4 西蒲原郡弥彦村弥彦山 (1992 9 11)



K. Kobayashi

センニンソウ (キンぼうげ科)

1. 全形×0.8 2. 果実の集り×0.5 3. がく片×6 4, 5. おしべ×9 6. 果実×3.2 7. 果実の横断面×5
 8. めしべ×9 9. 茎の横断面×10



ボタンツル (キンぼうげ科)

1. 全形×0.8 2. 花×1.8 3, 4. おしべ×7 5, 6. がく片×5 7, 8. 果実×3 9. 果実の横断面×8.5
 10. めしべの集り×8.5 11. めしべ×8.5 12. 茎の横断面×11 13. 葉の裏面×1